

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

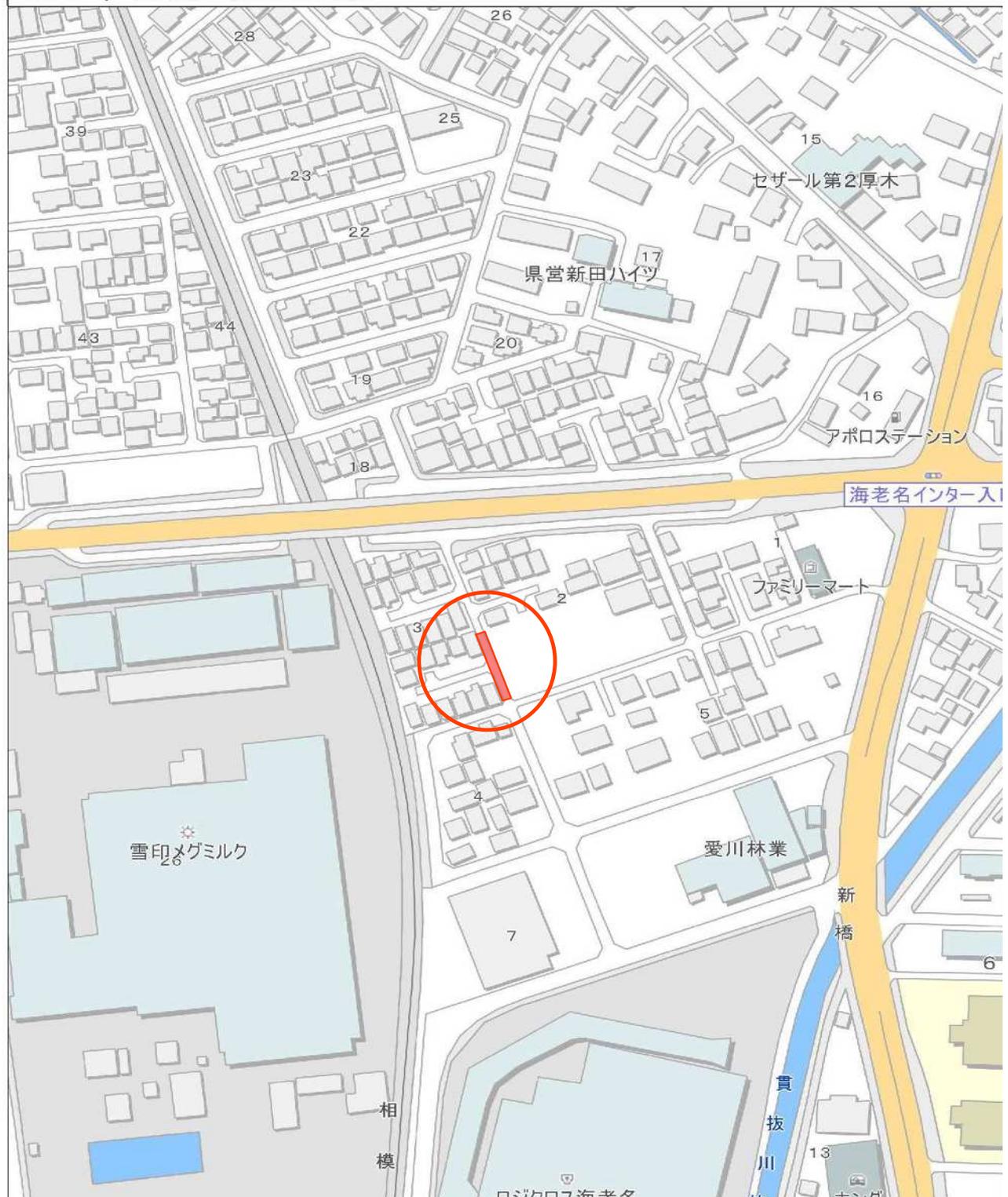
契約番号 : 7160

件名	市道 428 号線拡幅改良工事	
履行場所	海老名市中新田五丁目 地内	
工期	令和 7 年 10 月 6 日～令和 7 年 12 月 12 日 (68 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	3,839,000 円 (税込)	3,490,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円 (建築一式工事の場合は8千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり (第 1 区分及び第 2 区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ~ (3) のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書 (経営事項審査) の写し ※ <u>経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働 (雇用) 保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書 (工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 ※ <u>健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号 (3 箇所) にマスキング (黒塗り) をして提出してください。</u>	

市道428号線拡幅改良工事 海老名市中新田五丁目地内

案内図



工事説明書 (特記仕様書)

工事件名 : 市道428号線拡幅改良工事
工事場所 : 海老名市 中新田五丁目 地内
路線名称 : 市道428号線

1. 工事目的

○道路幅員を拡幅し、道路側溝を敷設することで、沿線住民の住環境及び利便性の向上を図る。

2. 工事概要

○工事延長 L=36.8m

・撤去工	N=1.0式	舗装工	N=1.0式
・土工	N=1.0式	区画線工	N=1.0式
・排水工	N=1.0式	仮設工	N=1.0式

3. 仕様 (施工管理)

○本工事は、「海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準」に基づき施工すること。但し、測定基準において、施工延長 L=40.0m とあるものは、L=20.0m とし、L=20.0m 未満については、2箇所とすること。

○海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき舗装工については以下の試験を行うこととする。試験は各工種の施工数量により対応すること。

- ・アスファルト舗装工、アスファルト安定処理工
現場密度の測定・コア抜き
(1000 m²未満 3個 別途 1000 m²毎に 1個追加)
- ・上層路盤
現場密度の測定 (300 m²以上 3個実施)
- ・下層路盤
現場密度測定 (300 m²以上 3個実施)
プルフローリング (段階確認項目)
- ・路床 (道路土工)
現場密度測定 (300 m²以上 3個実施)
プルフローリング (段階確認項目)
- ・排水性舗装
現場透水性試験 (10箇所実施)
- ・透水性舗装
現場透水性試験 (10箇所実施)

○上記の試験については海老名市土木工事施工管理基準により、300 m²未満は小規模により省略することもできる。

ただし、監督員が必要と認める場合は施工計画段階の協議により決定する。

○型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。

○海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。

○道路計画高等、必要段階に於いては、監督員に立会いを求め、承認の上、施工を推進すること。

○再生砂(RC-10)を使用する際、六価クロムについて、平成3年8月23日付環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、予め土壤汚染に係る環境基準に適合することを確認し、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。

○舗装切断時に発生する濁水処理に係る仕様については、別添『舗装切断時に発生する濁水処理に係る特記仕様書』を参照すること。

○上記以外の内容については、監督員と協議し、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

4. 工程管理

○契約工期

令和7年10月6日から令和7年12月12日まで

○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

5. 安全対策

○道路使用許可条件（交通管理、施工時間等）を遵守すること。

尚、利用者の安全上、やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合、監督員に連絡するとともに、交通管理者（所轄警察署）に連絡をすること。

○工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。

○特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないように、安全対策（安全柵・チューブライト等により）を十分に行うこと。尚、特に夜間の安全管理については、留意すること。

○工事実施期間中に現場を開放する場合（工事実施時間帯以外）、現況道路高と計画道路高に段差が生ずる時には、必ず安全対策（看板設置・段差擦り付け・通行止め等）を講ずること。

○風雨が強い場合、工事現場の見周りを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

6. 仮設備関係

○仮設備（現場事務所等）の建設については、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。

○工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場、現場事務所に係る建設費用等は、請負業者の負担とする。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

7. 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- 工事車両については、速やかに工事ヤード内に誘導し、道路上で工事車両が待機し、一般車及び公共交通車両の通行を妨げないようにする。
- 一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。尚、大型車両を使用する場合、規定の路線を利用し、十分に速度を落とし、安全に留意して走行すること。
- 施工段階で、周辺道路の通行止めを行う場合、所轄警察署の許可を得ることは基より、通行止めの予告・案内看板等により、車両及び人を安全に誘導すること。尚、看板設置位置等については、監督員と協議し、承諾を得ること。
- 一般道路を通行止めとする場合、その期間が極力短くなる創意工夫した提案を監督員に行う。
- 夜間にて、資材等の搬入を行う場合に於いても、十分留意すること。
- 資機材の搬入路については、新設道路であるため、監督員と協議を行い、決定すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

8. 建設副産物関係

- 建設残土の処分地は『愛川町田代受入地』です。
- その他建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。
また、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

9. 海老名環境マネジメントシステム関係

○本工事は、海老名市環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	市道428号線拡幅改良工事
作業	配慮事項
掘削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
コンクリート取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
アスファルト取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に

	抑える。
構造物	基礎材は、再生砕石を使用する。
路盤工	路盤材は再生材（RC-10・RM-40・RC-40）を使用する。
舗装工 (車道及び歩道)	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
工事作業 機械車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

10. 工事全般

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人に於いて、作業中現場に常駐すること。又、現場代理人は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し、明記すること。
- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。**(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)**
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合は、了解を得てから実施すること。
- 基準点、測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。
- 騒音、振動及び粉塵等により駅利用者に対し不利益になりうる事は、工事期間・時間及び施工方法等を十分配慮し、施工に当たること。
- 掘削位置直近の構造物（ブロック塀等）は、施工前に状態を確認し、必要であれば、地権者に立会いを求め、記録し、監督員に報告すること。
- 工事現場から発生する不要物等が、工事エリア外に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
- 請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
- 道路占用物件(ライフライン等)の移設及び撤去が生ずる場合、関係機関との調整を十分行い、監督職員に報告し、工事を円滑に履行すること。
- 設計図書及び工事説明書(特記仕様書)に記載されていない事項については、監督職員と協議の上、履行すること。
- 工事提出書類については十分把握し、適正に作成すること。
(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)
- 本工事は、『道路改良工事』で積算しています。
- その他の条件等については、別途『施工条件明示書』を参照すること。
- 本仕様書に定めのない事項については、その都度、監督員と請負者で協議を行い、決定していくこと。
- 施工箇所の範囲には、駐車場に隣接していることから、車の出入りには配慮すること。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道428号線拡幅改良工事		
工事場所	海老名市	中新田五丁目	地内
工事目的	道路幅員を拡幅し、道路側溝を敷設することで、沿線住民の住環境及び利便性の向上を図る。		
工事概要	工事延長L=36.8m		
	撤去工	N=1.0式	舗装工 N=1.0式
	土工	N=1.0式	区画線工 N=1.0式
	排水工	N=1.0式	仮設工 N=1.0式
契約工期	令和7年10月6日 から 令和7年12月12日 まで		
事業区分	<input type="checkbox"/> 補助金事業	<input type="checkbox"/> 国庫	
	<input type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 県費	
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算	工事	
			工事

2 積算諸条件

- 主たる工種 : 道路改良工事
- 施工地域・工事場所区分 : 一般交通影響あり（2）
- 契約保証の方法 : 補正なし
- 施工パッケージの使用（一部使用含む） : 有 無
- 週休二日制確保工事該当の有無 : 発注者指定（当初計上） 受注者希望（変更補正） 無

【使用歩掛及び単価等】

- | | | | |
|---|---------|-----|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書 | 適用年版：令和 | 6年 | 7月 |
| <input type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表 | 適用年版：令和 | 年版 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表 | 適用年版：令和 | 7年 | 6月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 刊行物 | 適用年版：令和 | 7年 | 4月 |
| <input type="checkbox"/> 特別調査 | 適用年版：令和 | 年 | 月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 海老名市見積単価等 | 適用年版：令和 | 7年度 | |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | 適用年版：令和 | 年 | 月 |

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (他工事件名等)	
			<input type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)	
	2	当工事における施工時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等)	
			<input type="checkbox"/> 有 (施工時期等)	
	3	施工時間について	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間施工	(その他特記事項)
			<input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)	
4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (関係機関名)		
		<input type="checkbox"/> 有		
5	工事着手前に地上物件 (家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容)		
		<input type="checkbox"/> 有		
※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。				
6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等)		
		<input type="checkbox"/> 有		
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について (用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等)	
			<input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)	
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等)	
		<input type="checkbox"/> 有		
3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等)		
		<input type="checkbox"/> 有		
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法、振動規制法による	
			<input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法、振動規制法による	
2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容)		
		<input type="checkbox"/> 有		

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 有 □鉄道 □ガス □電気 □電話 □上水道 □下水道 □その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 作業期間中
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） 交通規制に注意すること <input checked="" type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） <input checked="" type="checkbox"/> 有 搬入先：愛川町田代処分場 住所：神奈川県愛甲郡愛川町田代1951番地 業者：株式会社織戸組 愛川事務所 電話：046-281-1012
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 □建設発生木材 □建設発生木材（伐木・除根材） □建設汚泥 □建設混合廃棄物 □金属くず □その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 □電柱 □上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 □電話 □ガス管 □架空電線 □標識・看板 <input checked="" type="checkbox"/> その他（消火栓）

【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(対象内容)
			<input type="checkbox"/> 有	工法区分： 使用材料： 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
【9】 その他	1	工事現場発生品がある 場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名、数量等)
			<input type="checkbox"/> 有	
	2	支給材料及び貸与品が ある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名、数量等)
			<input type="checkbox"/> 有	
	3	特殊・特定使用材料を 使用する場合及び資材 搬入等に制限がある場 合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名、数量、搬入制限等)
			<input type="checkbox"/> 有	
4	発生売却品評価額（ス クラップ等）を計上し ている場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名等)	
		<input type="checkbox"/> 有		
5		<input type="checkbox"/> 無		
		<input type="checkbox"/> 有		
6		<input type="checkbox"/> 無		
		<input type="checkbox"/> 有		

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令和 7 年 度

市道 4 2 8 号線 拡幅 改良 工事 設計 書

番 号	歩掛R6.7 単価R7.6	施 工 年 度	令和7年度
名 称	市道428号線拡幅改良工事		
場 所	海老名市中新田五丁目地内		
施 工 主	海老名市	概要 施工延長 L=36.8m ・撤去工 1式 ・土工 1式 ・排水工 1式 ・舗装工 1式 ・区画線工 1式 ・仮設工 1式	
設 計 区 分	道路改良工事		
路 線 名	市道428号線		
期 間	令和7年10月6日～令和7年12月12日		
日 数	68日		
部 課 名	まちづくり部 道路整備課		
積 算 担 当	幹線道路係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	道路改良工事	工事日数(内冬日数)	68日/42日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	補正なし	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	補正なし	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現場管理費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{対象額による率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

A- 1号内訳書(施工P-01)
舗装版切断

積算単位:m

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			15.42			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式	供/日	10.49			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			57.13			
R 1	特殊作業員	人	19.60			
R 2	土木一般世話役	人	10.55			
R 3	普通作業員	人	8.73			
R 4						
R 5						
材料 Z			27.45			
Z 1	コンクリートカッタ(プレート) / 径18インチ	枚	23.29			
Z 2	カッソリン/レギュラー, スタンド渡し	L	2.83			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{10.49}{100} \times \frac{15.42}{10.49} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{19.60}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{10.55}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{8.73}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \right) \\
 & + \left(\frac{23.29}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} + \frac{2.83}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \right) \\
 & \left. + \frac{100-15.42-57.13-27.45}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-02)
 舗装版破碎積込(電線共同溝工)

積算単位: m²

標準単価:

名	称	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東	京)	単	価	摘	要
機械	K							4.78									
	K 1	バックホウ(コーラ、超小旋回型、クレーン機能付き) 賃料/山積0.28m3(平積0.2m3) 1.7t吊(排出ガス対策型含む)			日			4.78									
	K 2																
	K 3																
	K 4																
	K 5																
労務	R							92.73									
	R 1	普通作業員			人			53.88									
	R 2	土木一般世話役			人			23.25									
	R 3	運転手(特殊)			人			15.60									
	R 4																
	R 5																
材料	Z							2.49									
	Z 1	軽油/パトロール給油			L			2.49									
	Z 2																
	Z 3																
	Z 4																
	Z 5																
市場	S																

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{4.78}{100} \times \frac{4.78}{4.78} \right) \times \frac{4.78}{4.78} \right. \\
 & + \left(\frac{53.88}{100} \times \frac{53.88}{53.88+23.25+15.60} + \frac{23.25}{100} \times \frac{23.25}{53.88+23.25+15.60} + \frac{15.60}{100} \times \frac{15.60}{53.88+23.25+15.60} \right) \times \frac{92.73}{53.88+23.25+15.60} \\
 & + \left(\frac{2.49}{100} \times \frac{2.49}{2.49} \right) \times \frac{2.49}{2.49} \\
 & \left. + \frac{100-4.78-92.73-2.49}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 2号内訳書(施工P-01)

床掘り

土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)

積算単位:m3

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			19.87			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	19.87			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			72.99			
R 1	運転手(特殊)	人	39.96			
R 2	普通作業員	人	33.03			
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			7.14			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	7.14			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{19.87}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{19.87}{19.87} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{39.96}{100} \times \text{-----} + \frac{33.03}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{72.99}{39.96+33.03} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{7.14}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{7.14}{7.14} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-19.87-72.99-7.14}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 2号内訳書(施工P-02)
掘削

積算単位:m3

標準単価:

土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)、施工数量:標準

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			27.26			
K 1	バックホウ(クローラ型) 標準型 排対型(2次基準)	供/日	27.26			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			61.70			
R 1	運転手(特殊)	人	61.70			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			11.04			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	11.04			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{27.26}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{27.26}{27.26} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{61.70}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{61.70}{61.70} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{11.04}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{11.04}{11.04} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-27.26-61.70-11.04}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 4号内訳書(施工P-01)
表層(車道・路肩部)

積算単位: m²

標準単価:
入力数量: 50mm

平均幅員: 3.0m超、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 密粒度アスコン(20)、瀝青材料種類: プライムコート PK-3

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.35			
K 1	アスファルトフィニッシャ賃料/ホイール型、舗装幅2.3~6.0m	日	0.87			
K 2	タイヤローラ(普通型)賃料/質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	0.13			
K 3	ロートローラ(マカダム)賃料/質量 10~12 t (排出ガス対策型含む)	日	0.13			
K 4						
K 5						
労務 R			9.47			
R 1	普通作業員	人	3.39			
R 2	運転手(特殊)	人	1.94			
R 3	特殊作業員	人	1.89			
R 4	土木一般世話役	人	0.67			
R 5						
材料 Z			89.18			
Z 1	再生アスファルト混合物/再生密粒度アスコン(13)	t	81.56			
Z 2	アスファルト乳剤/PK-3 プライムコート用	L	7.06			
Z 3	軽油/ハトロール給油	L	0.47			
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{0.87}{100} \times \frac{1.35}{0.87+0.13+0.13} + \frac{0.13}{100} \times \frac{1.35}{0.87+0.13+0.13} + \frac{0.13}{100} \times \frac{1.35}{0.87+0.13+0.13} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{3.39}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} + \frac{1.94}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} + \frac{1.89}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} + \frac{0.67}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} \right) \\
 & + \left(\frac{81.56}{100} \times \frac{89.18}{81.56+7.06+0.47} + \frac{7.06}{100} \times \frac{89.18}{81.56+7.06+0.47} + \frac{0.47}{100} \times \frac{89.18}{81.56+7.06+0.47} \right) \\
 & \left. + \frac{100-1.35-9.47-89.18}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 4号内訳書(施工P-02)

不陸整正

補足材料の有無:有り、補足材料平均厚さ:29mm以上34mm未満

積算単位: m²

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			16.68			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2次基準)	供/日	8.14			
K 2	ロードロー マカダム 排対型(2次基準)	供/日	6.45			
K 3	タイヤロー(普通型) 賃料/質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	2.09			
K 4						
K 5						
労務 R			49.70			
R 1	運転手(特殊)	人	31.83			
R 2	特殊作業員	人	9.28			
R 3	普通作業員	人	6.92			
R 4	土木一般世話役	人	1.67			
R 5						
材料 Z			33.62			
Z 1	再生粒度調整碎石/RM-40	m ³	27.83			
Z 2	軽油/バトロール給油	L	5.79			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{8.14}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} + \frac{6.45}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} + \frac{2.09}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{31.83}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{9.28}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{6.92}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{1.67}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} \right) \\
 & + \left(\frac{27.83}{100} \times \frac{33.62}{27.83+5.79} + \frac{5.79}{100} \times \frac{33.62}{27.83+5.79} \right) \\
 & \left. + \frac{100-16.68-49.70-33.62}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 4号内訳書(施工P-03)

上層路盤(車道・路肩部)

材料:再生粒度調整砕石 RM-40、全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m²

標準単価:

入力数量: 150mm

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			9.88			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2次基準)	供/日	3.96			
K 2	ロードローラ マカダム 排対型(2次基準)	供/日	3.13			
K 3	タイヤローラ(普通型) 賃料/質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	1.01			
K 4						
K 5						
労務 R			33.13			
R 1	運転手(特殊)	人	15.46			
R 2	特殊作業員	人	5.15			
R 3	普通作業員	人	5.03			
R 4	土木一般世話役	人	1.52			
R 5						
材料 Z			56.99			
Z 1	再生粒度調整砕石/RM-40	m ³	53.57			
Z 2	軽油/パトロール給油	L	2.81			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{3.96}{100} \times \frac{9.88}{3.96+3.13+1.01} + \frac{3.13}{100} \times \frac{9.88}{3.96+3.13+1.01} + \frac{1.01}{100} \times \frac{9.88}{3.96+3.13+1.01} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{15.46}{100} \times \frac{33.13}{15.46+5.15+5.03+1.52} + \frac{5.15}{100} \times \frac{33.13}{15.46+5.15+5.03+1.52} + \frac{5.03}{100} \times \frac{33.13}{15.46+5.15+5.03+1.52} + \frac{1.52}{100} \times \frac{33.13}{15.46+5.15+5.03+1.52} \right) \\
 & + \left(\frac{53.57}{100} \times \frac{56.99}{53.57+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{56.99}{53.57+2.81} \right) \\
 & \left. + \frac{100-9.88-33.13-56.99}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 4号内訳書(施工P-04)
 下層路盤(車道・路肩部)

積算単位: m²

標準単価:
 入力数量: 200mm

全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K		4.67			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2次基準)	供/日	1.87			
K 2	ロードロー マカダム 排対型(2次基準)	供/日	1.48			
K 3	タイヤロー(普通型)賃料/質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	0.48			
K 4						
K 5						
労務	R		15.69			
R 1	運転手(特殊)	人	7.32			
R 2	特殊作業員	人	2.44			
R 3	普通作業員	人	2.38			
R 4	土木一般世話役	人	0.72			
R 5						
材料	Z		79.64			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m ³	78.02			
Z 2	軽油/パトロール給油	L	1.33			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{1.87}{100} \times \frac{4.67}{1.87+1.48+0.48} + \frac{1.48}{100} \times \frac{4.67}{1.87+1.48+0.48} + \frac{0.48}{100} \times \frac{4.67}{1.87+1.48+0.48} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{7.32}{100} \times \frac{15.69}{7.32+2.44+2.38+0.72} + \frac{2.44}{100} \times \frac{15.69}{7.32+2.44+2.38+0.72} + \frac{2.38}{100} \times \frac{15.69}{7.32+2.44+2.38+0.72} + \frac{0.72}{100} \times \frac{15.69}{7.32+2.44+2.38+0.72} \right) \\
 & + \left(\frac{78.02}{100} \times \frac{79.64}{78.02+1.33} + \frac{1.33}{100} \times \frac{79.64}{78.02+1.33} \right) \\
 & \left. + \frac{100-4.67-15.69-79.64}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 1号明細書(施工P-01)
運搬(電線共同溝工)

積算単位:m3

標準単価:

積載区分:アスファルト塊、DID区間の有無:有り、運搬距離:6.0km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			23.93			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル	供/日	23.93			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			62.60			
R 1	運転手(一般)	人	62.60			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			13.47			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	13.47			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{23.93}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{23.93}{23.93} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{62.60}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{62.60}{62.60} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{13.47}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{13.47}{13.47} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-23.93-62.60-13.47}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 2号明細書(施工P-01)
 殻運搬

積算単位:m3

標準単価:

殻発生作業:コンクリート(無筋)構造物とりこわし、積込工法区分:機械積込、DID区間の有無:有り、運搬距離:5.7km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			41.69			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル	供/日	41.69			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			43.88			
R 1	運転手(一般)	人	43.88			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			14.43			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	14.43			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{41.69}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{41.69}{41.69} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{43.88}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{43.88}{43.88} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{14.43}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{14.43}{14.43} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-41.69-43.88-14.43}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 3号明細書(施工P-01)

埋戻し

施工方法:上記以外(小規模)

積算単位:m3

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K		9.48			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	8.90			
K 2	タンパ及びランマ ランマ	供/日	0.58			
K 3						
K 4						
K 5						
労務	R		86.47			
R 1	普通作業員	人	49.42			
R 2	特殊作業員	人	19.17			
R 3	運転手(特殊)	人	17.88			
R 4						
R 5						
材料	Z		4.05			
Z 1	軽油/ハトール給油	L	3.20			
Z 2	ガソリン/レキユーテ, スタンド渡し	L	0.85			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{8.90}{100} \times \frac{9.48}{8.90+0.58} + \frac{0.58}{100} \times \frac{9.48}{8.90+0.58} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{49.42}{100} \times \frac{86.47}{49.42+19.17+17.88} + \frac{19.17}{100} \times \frac{86.47}{49.42+19.17+17.88} + \frac{17.88}{100} \times \frac{86.47}{49.42+19.17+17.88} \right) \\
 & + \left(\frac{3.20}{100} \times \frac{4.05}{3.20+0.85} + \frac{0.85}{100} \times \frac{4.05}{3.20+0.85} \right) \\
 & \left. + \frac{100-9.48-86.47-4.05}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 4号明細書(施工P-01)

積算単位:m3

標準単価:

土砂等運搬

土砂等発現場:小規模、積込機種・規格:バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)

土質:土砂(岩塊・玉石混りを含む)、DID区間の有無:有り、運搬距離:17.0km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			24.45			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル	供/日	24.45			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			63.42			
R 1	運転手(一般)	人	63.42			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			12.13			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	12.13			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{24.45}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{24.45}{24.45} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{63.42}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{63.42}{63.42} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{12.13}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{12.13}{12.13} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-24.45-63.42-12.13}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 6号 10m当たり 明細書

U型側溝工② (U型+スリット蓋)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
U型側溝設置工 (L=2000mm) 昼間	1000kg/個以下 制約無, 基礎碎石施工する	m	10			C- 8号単価表
コンクリート	構造物種別: 無筋・鉄筋構造物 打設工法: 人力打設 コンクリート規格: 24-8-25 (20) (高炉)	m3	0.32			施工P-01
	養生工の種類: 一般養生 現場内小運搬の有無: 無し					
埋設型枠	390*6*1000	枚	10			
集水材	普通目	個	5			
鉄筋	SD345 D13	t	0.06			施工P-02
塩ビ管	φ 5 0 VU	m	1.5			
計						
1 m当たり						

B- 6号明細書(施工P-01)
コンクリート

積算単位:m3

標準単価:

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-8-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		29.40			
	R 1 普通作業員	人	13.20			
	R 2 特殊作業員	人	7.51			
	R 3 土木一般世話役	人	6.69			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		70.60			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 24-8-25(20), W/C指定無し	m3	70.60			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left(\frac{13.20}{100} \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69} + \frac{7.51}{100} \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69} + \frac{6.69}{100} \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69} \right)$$

$$+ \left(\frac{70.60}{100} \times \frac{70.60}{70.60} \right)$$

$$+ \frac{100-29.40-70.60}{100} \} =$$

B- 6号明細書(施工P-02)
鉄筋/SD345 D13

積算単位: t

標準単価:

床版

名	称	規	格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘	要
機械	K								
	K 1								
	K 2								
	K 3								
	K 4								
	K 5								
労務	R				67.90				
	R 1	鉄筋工		人	38.61				
	R 2	普通作業員		人	18.35				
	R 3	土木一般世話役		人	9.61				
	R 4								
	R 5								
材料	Z				32.10				
	Z 1	鉄筋コンクリート用棒鋼/SD345 D13		t	32.10				
	Z 2								
	Z 3								
	Z 4								
	Z 5								
市場	S								

P' =

× {

$$+ \left(\frac{38.61}{100} \times \frac{38.61}{38.61+18.35+9.61} + \frac{18.35}{100} \times \frac{18.35}{38.61+18.35+9.61} + \frac{9.61}{100} \times \frac{9.61}{38.61+18.35+9.61} \right) \times \frac{67.90}{38.61+18.35+9.61}$$

$$+ \left(\frac{32.10}{100} \times \frac{32.10}{32.10} \right) \times \frac{32.10}{32.10}$$

$$+ \frac{100-67.90-32.10}{100} \} =$$

C- 6号単価表(施工P-01)
コンクリート

積算単位:m3

標準単価:

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		29.40			
	R 1 普通作業員	人	13.20			
	R 2 特殊作業員	人	7.51			
	R 3 土木一般世話役	人	6.69			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		70.60			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m3	70.60			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left(\frac{13.20}{100} \times \text{-----} + \frac{7.51}{100} \times \text{-----} + \frac{6.69}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69}$$

$$+ \left(\frac{70.60}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{70.60}{70.60}$$

$$+ \frac{100-29.40-70.60}{100} \text{-----} \} =$$

C- 6号単価表(施工P-02)

積算単位: m²

標準単価:

型枠

型枠の種類: 一般型枠、構造物の種類: 鉄筋・無筋構造物

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	型わく工	人	46.19			
R 2	普通作業員	人	25.55			
R 3	土木一般世話役	人	9.57			
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left(\frac{46.19}{100} \times \frac{100-100}{100} + \frac{25.55}{100} \times \frac{100-100}{100} + \frac{9.57}{100} \times \frac{100-100}{100} \right) \times \frac{100}{46.19+25.55+9.57}$$

+

$$+ \left. \frac{100-100}{100} \right\} =$$

C- 8号単価表(施工P-01)
コンクリート

積算単位:m3

標準単価:

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名	称	規	格	単位	構成比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械	K									
	K 1									
	K 2									
	K 3									
	K 4									
	K 5									
労務	R				29.40					
	R 1	普通作業員		人	13.20					
	R 2	特殊作業員		人	7.51					
	R 3	土木一般世話役		人	6.69					
	R 4									
	R 5									
材料	Z				70.60					
	Z 1	生コンクリート(高炉セメント)ノ18-8-25(20), W/C指定無し		m3	70.60					
	Z 2									
	Z 3									
	Z 4									
	Z 5									
市場	S									

P' =

× {

$$+ \left(\frac{13.20}{100} \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69} + \frac{7.51}{100} \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69} + \frac{6.69}{100} \times \frac{29.40}{13.20+7.51+6.69} \right)$$

$$+ \left(\frac{70.60}{100} \times \frac{70.60}{70.60} \right)$$

$$+ \frac{100-29.40-70.60}{100} \} =$$

C- 8号単価表(施工P-02)

積算単位: m²

標準単価:

型枠

型枠の種類: 一般型枠、構造物の種類: 鉄筋・無筋構造物

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	型わく工	人	46.19			
R 2	普通作業員	人	25.55			
R 3	土木一般世話役	人	9.57			
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left(\frac{46.19}{100} \times \text{-----} + \frac{25.55}{100} \times \text{-----} + \frac{9.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{46.19+25.55+9.57}$$

+

$$+ \left. \text{-----} \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =$$

市道428号線拡幅改良工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
U型側溝設置	3種 U300 L=2000	個	16.5			
塩ビ管	φ50 VU	m	1.95			
蓋版	40kg超え170kg/枚以下	枚	40			
生コンクリート(高炉セメント)	18-8-25(20), W/C指定無し	m3	1.837			
生コンクリート(高炉セメント)	24-8-25(20), W/C指定無し	m3	0.445			
再生粒度調整砕石	RM-40	m3	5.66			
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	33.163			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ [®] 15~18 黄鉛・フリー	kg	2.28			
ガラスビーズ [®]	0.106~0.850mm	kg	0.1			
接着用プライマー	区画線用	kg	0.1			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	t	11.085			
集水材	普通目	個	6.5			
埋設型枠	390*6*1000	枚	13			

令和7年度
市道428号線拡幅改良工事

数量計算書

市道428号拡幅改良工事 数量総括表				
種別	規格	算式	数量	単位
○撤去工				
舗装版切断(t=5cm)	t=15cm以下	数量計算書より	63	m
舗装版切断濁水処理工	北部地区	数量計算書より	1	式
舗装版破碎	t=50mm	数量計算書より	94	m ²
運搬	As	数量計算書より	4	m ³
廃材処理料	As	数量計算書より	4	m ³
構造物取壊し工	無筋Co	数量計算書より	0.08	m ³
運搬	無筋Co	数量計算書より	0.08	m ³
廃材処理料	無筋Co	数量計算書より	0.08	m ³
○土工				
床掘り		数量計算書より	18	m ³
埋戻し	RC-40	数量計算書より	4	m ³
掘削		数量計算書より	1	m ³
土砂等運搬		数量計算書より	20	m ³
廃材処理料(北部地区)	発生土	数量計算書より	20	m ³
○排水工				
U型側溝工①(U型+側溝蓋)	U型	数量計算書より	20	m
	側溝蓋	数量計算書より	40	枚
U型側溝工②(U型+スリット蓋)	U型	数量計算書より	13	m
	スリット蓋	数量計算書より	13	m
○舗装工				
表層工(車道・路肩部)	再生密粒(13), t=50mm	数量計算書より	88	m ²
不陸整正工	RM-40, t=30mm	数量計算書より	74	m ²
上層路盤工	RM-40, t=150mm	数量計算書より	14	m ²
下層路盤工	RC-40, t=200mm	数量計算書より	14	m ²
○区画線工				
区画線工 溶融式	矢印・文字・記号, 黄	数量計算書より	4	m
区画線工 溶融式	矢印・文字・記号, 手間のみ	数量計算書より	200	m
○仮設工				
交通誘導員B(昼間)		交通誘導員の算定による	1	現場

数 量 計 算 書

工 種	計 算 式	数 量	単 位
○撤去工			
舗装版切断 (t=5cm)			
(t=15cm以下)	$L = 5.8 + 31.0 + 2.1 + 24.2 = 63.1$	63	m
舗装版切断濁水処理工 (t=5cm)		1.0	式
(北部地区)			
舗装版取壊し工 (t=5cm)	CAD求積より		
(舗装版厚15cm以下)	$A = 94.20 = 94.2$	94.2	m ²
運搬	$V = 94.2 \times 0.05 = 4.7$	4	m ³
廃材処理料	$V = 4.7$	4	m ³
構造物取壊し工	地先境界ブロック 撤去平面図より		
無筋Co	$V = (0.15 \times 0.15 + 0.2 \times 0.1) \times 1.2 = 0.05$		
	Co構造物 □300 撤去平面図より		
	$V = 0.3 \times 0.3 \times 0.3 = 0.03$		
	$V = 0.05 + 0.03 = 0.08$	0.08	m ³
運搬	$V = 0.08$	0.08	m ³
廃材処理料	$V = 0.08$	0.08	m ³

数 量 計 算 書

工 種	計 算 式	数 量	単 位
○土工			
床掘り	土量計算書より		
	V= 18.5	18	m ³
埋戻し	土量計算書より		
(RC-40)	V= 4.1	4	m ³
掘削	土量計算書より		
	V= 1.6	1	m ³
土砂等運搬	V= 18.5 + 1.6 = 20.1	20	m ³
廃材処理料(北部地区)	V= 20.1	20	m ³
発生土			

土量計算書

測点	距離 (m)	掘削		
		断面積 (m ²)	平均 (m ²)	土量 (m ³)
No.1 + 11.760	0.00	0.17	0.00	0.0
No.2 + 0.000	8.24	0.17	0.17	1.4
No.2 + 1.350	1.35	0.17	0.17	0.2
	9.59			1.6

道路標示の文字記号等規格及び換算

(単位:m)

路線名	区 画 線											備 考
		W15実線 (白)	W15実線 (黄)	W15破線	W30実線	W30破線	W45実線	W45ゼブラ	※矢印・文 字・記号 (白)	※矢印・文 字・記号 (黄)	消去 削り取り式	
市道428 号線	消火栓									4.0		4.0×1箇所=4.0
計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	
		≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 4	≒ 0	

※矢印・文字・記号については、所要材料長を計上

1日未満で完了する作業の積算について(I-12-①-1)

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線 W=15cm	m	0	1000
実線 W=30cm	m	0	625
実線 W=45cm	m	0	550
破線 W=15cm	m	0	900
矢印・記号・文字	m	4	400
消去(削り式)	m	0	300

$$\begin{aligned} \sum (Xi/Di) &= 0 / 1000 + 0 / 625 + 0 / 550 + 0 / 900 + 4 / 400 \\ &= 0.01 < 0.50 \text{ (半日)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \alpha \sum (Xi/Di) &= \alpha \times (0 / 1000 + 0 / 625 + 0 / 550 + 0 / 900 \\ &\quad + 4 / 400) = 1.00 \\ \alpha &= 100 \div 100 \end{aligned}$$

修正作業日当たり標準作業

$$\begin{aligned} \text{実線 } W=15\text{cm } D'1 &= \alpha \times X1 = 100 \times 0 = 0 \text{ m/日} \\ &\quad (0 \text{ m/半日}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{実線 } W=30\text{cm } D'2 &= \alpha \times X2 = 100 \times 0 = 0 \text{ m/日} \\ &\quad (0 \text{ m/半日}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{実線 } W=45\text{cm } D'3 &= \alpha \times X3 = 100 \times 0 = 0 \text{ m/日} \\ &\quad (0 \text{ m/半日}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{破線 } W=15\text{cm } D'4 &= \alpha \times X4 = 100 \times 0 = 0 \text{ m/日} \\ &\quad (0 \text{ m/半日}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{矢印・記号・文字 } D'5 &= \alpha \times X4 = 100 \times 4 = 400 \text{ m/日} \\ &\quad (200 \text{ m/半日}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{消去(削り式) } D'6 &= \alpha \times X4 = 100 \times 0 = 0 \text{ m/日} \\ &\quad (0 \text{ m/半日}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{実線 } W=15\text{cm} : \text{ 労務費は } \frac{0}{\text{(半日分)}} \text{ m } \text{ 材料費は } \frac{0}{\text{(設計数量)}} \text{ m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{実線 } W=30\text{cm} : \text{ 労務費は } \frac{0}{\text{(半日分)}} \text{ m } \text{ 材料費は } \frac{0}{\text{(設計数量)}} \text{ m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{実線 } W=45\text{cm} : \text{ 労務費は } \frac{0}{\text{(半日分)}} \text{ m } \text{ 材料費は } \frac{0}{\text{(設計数量)}} \text{ m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{破線 } W=15\text{cm} : \text{ 労務費は } \frac{0}{\text{(半日分)}} \text{ m } \text{ 材料費は } \frac{0}{\text{(設計数量)}} \text{ m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{矢印・記号・文字} : \text{ 労務費は } \frac{200}{\text{(半日分)}} \text{ m } \text{ 材料費は } \frac{4}{\text{(設計数量)}} \text{ m} \end{aligned}$$

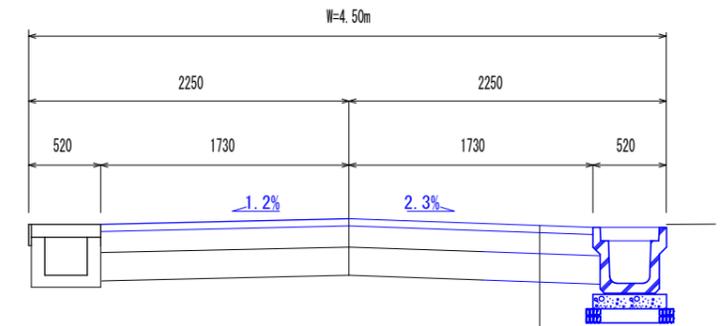
計画平面図 S=1:250



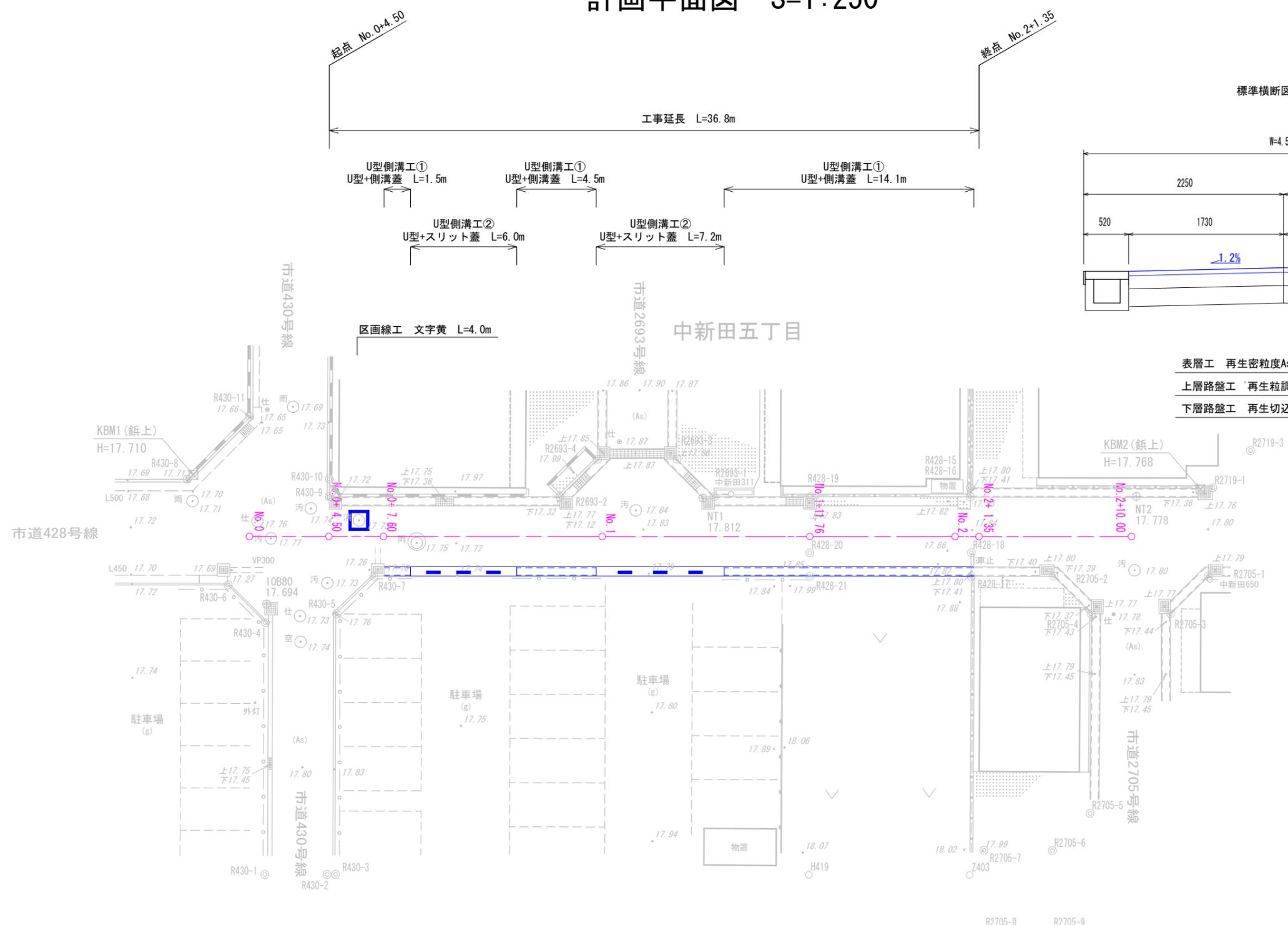
起点 No.0+4.50
 終点 No.2+1.35

工事延長 L=36.8m

標準横断面 S=1:50



表層工	再生密粒度As	t=5cm
上層路盤工	再生粒調砕石 (RM-40)	t=15cm
下層路盤工	再生切込砕石 (RC-40)	t=20cm

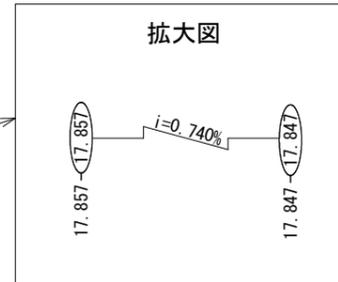
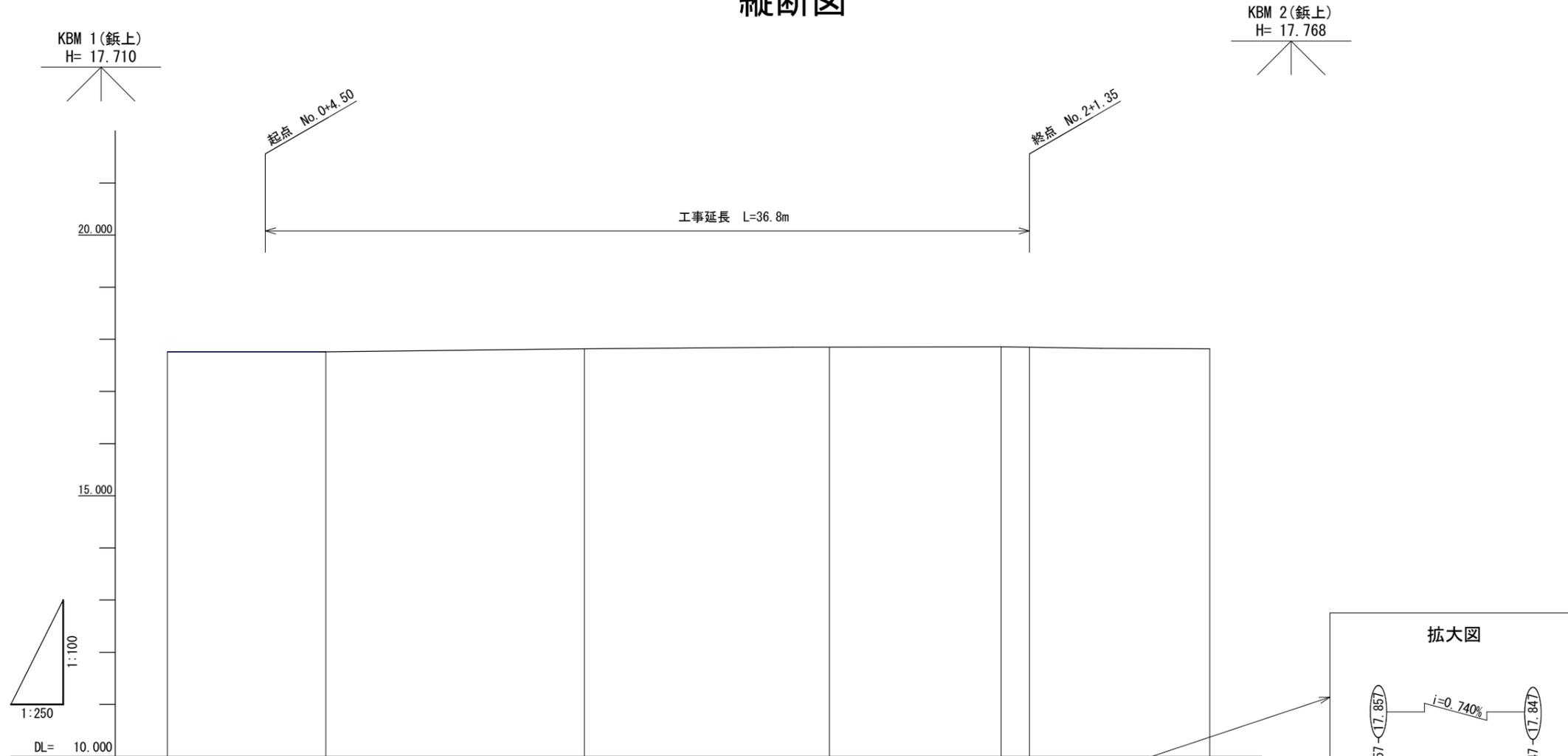


区画線工 文字黄 L=4.0m

中新田五丁目

工事名	令和7年度 市道428号線拡幅改良工事		
路線名	市道428号線		
工事場所	海老名市中新田五丁目地内		
図面名	計画平面図	縮尺	図示
図面番号	全7葉の内 第1号		
神奈川県海老名市役所			

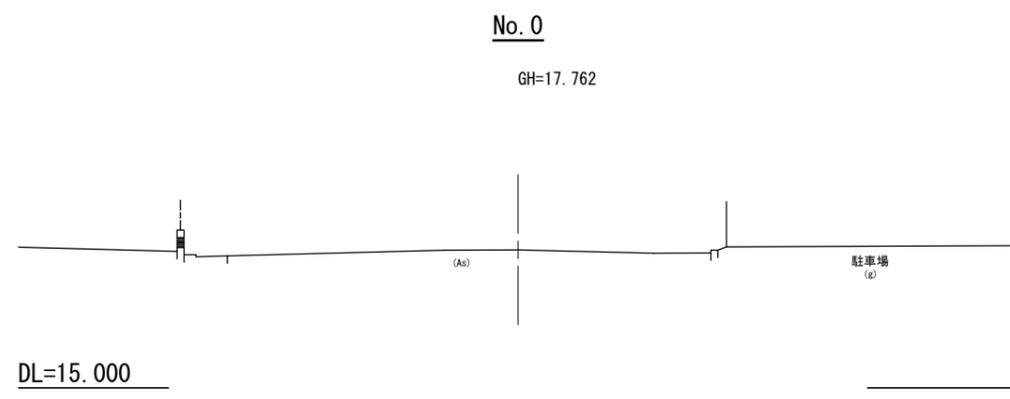
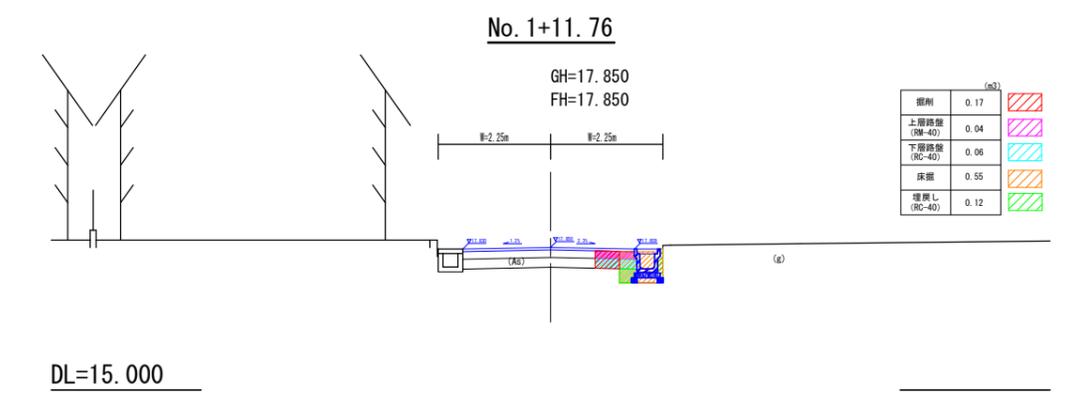
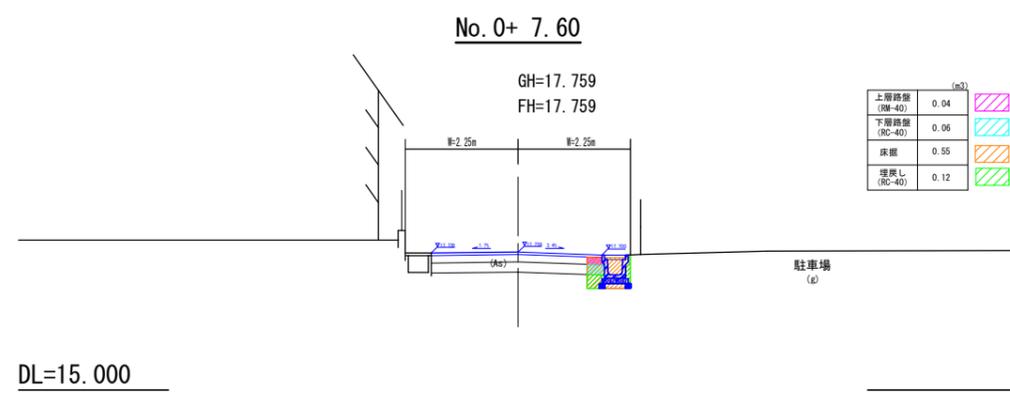
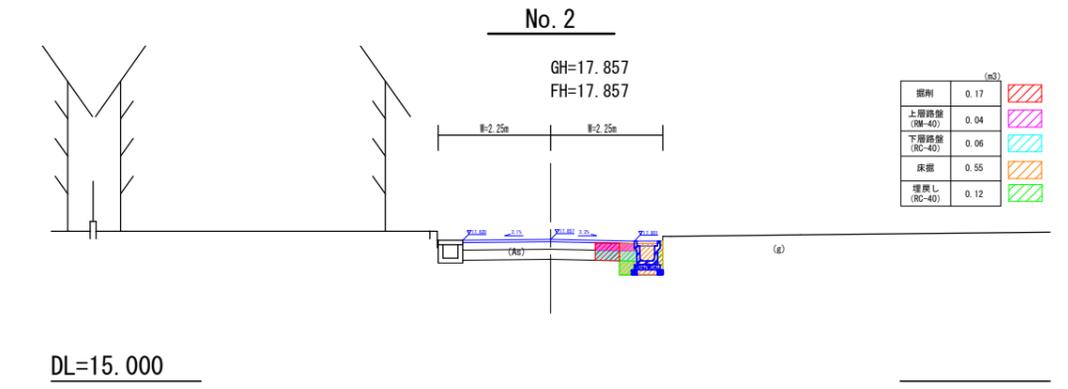
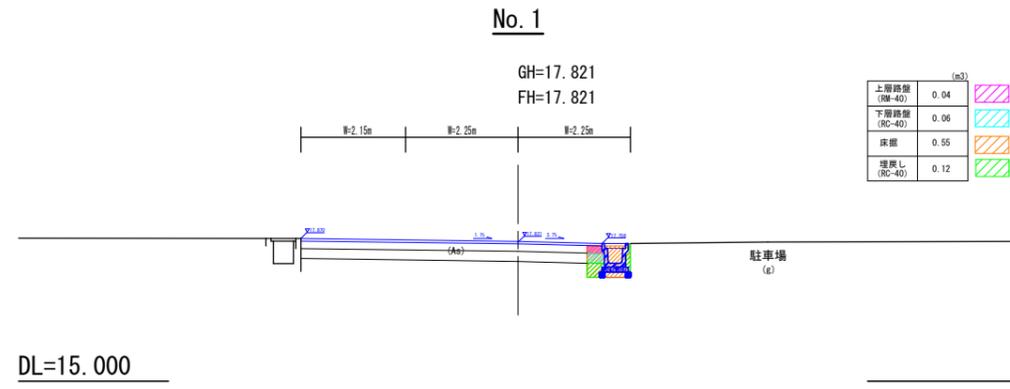
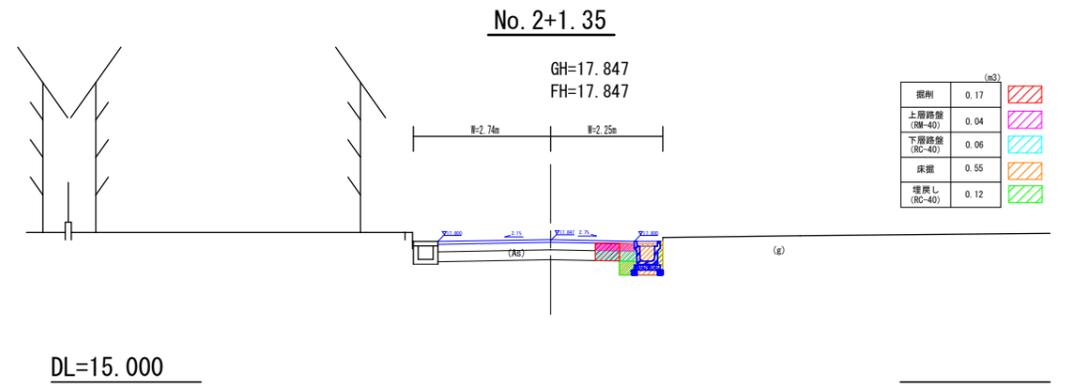
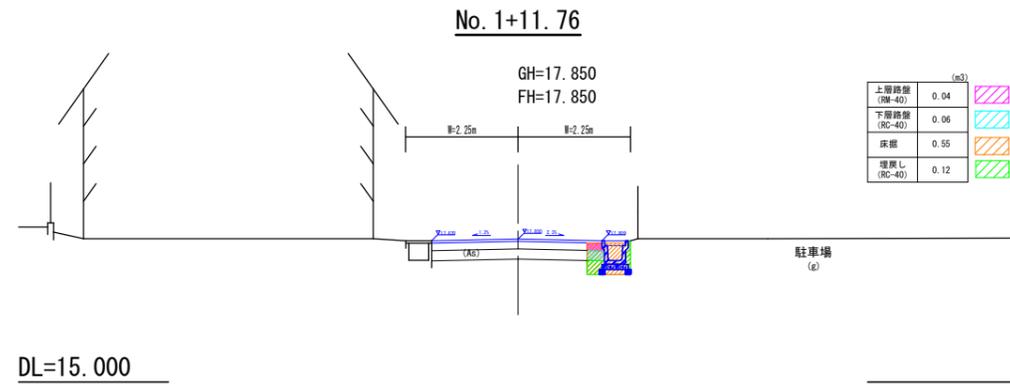
縦断図



勾配						
計画高	17.762	17.759	17.821	17.850	17.857	17.819
地盤高	17.762	17.759	17.821	17.850	17.857	17.819
盛土						
切土						
追加距離	0.000	7.600	20.000	31.760	40.000	50.000
単距離	0.000	7.600	12.400	11.760	8.240	5.200
測点	No. 0	No. 0 + 7.60	No. 1	No. 1 +11.76	No. 2 +1.35	No. 2 +10.00
曲線	L=50.000 R=∞					

工事名	令和7年度 市道428号線拡幅改良工事	
路線名	市道428号線	
工事場所	海老名市中新田五丁目地内	
図面名	縦断図	縮尺 V: 1:100 H: 1:250
図面番号	全7葉の内 第2号	
神奈川県海老名市役所		

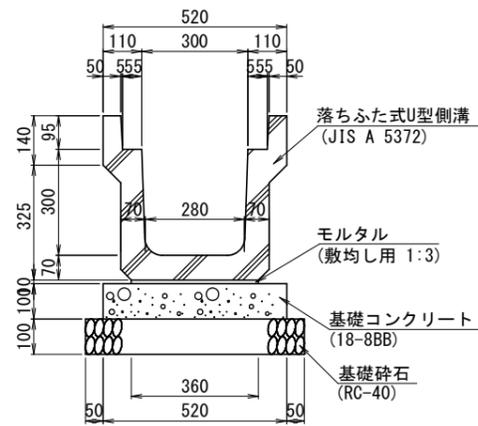
横断図



工事名	令和7年度 市道428号線拡幅改良工事
路線名	市道428号線
工事場所	海老名市新田五丁目地内
図面名	横断図 縮尺 S=1:100
図面番号	全7葉の内 第3号
神奈川県海老名市役所	

構造図 (1)

U型側溝

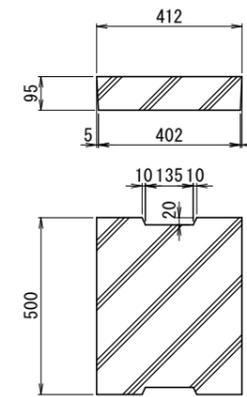


材料表

(10m当り)

落ちふた式U型側溝 (3種)	基礎砕石	型 枠	基礎コンクリート	モルタル	適 要
JIS A 5372	RC-40		18-8BB	敷均し用 1:3	
(個)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(kg/個)
5	6.2	2.0	0.52	0.04	310

U型側溝蓋



材料表

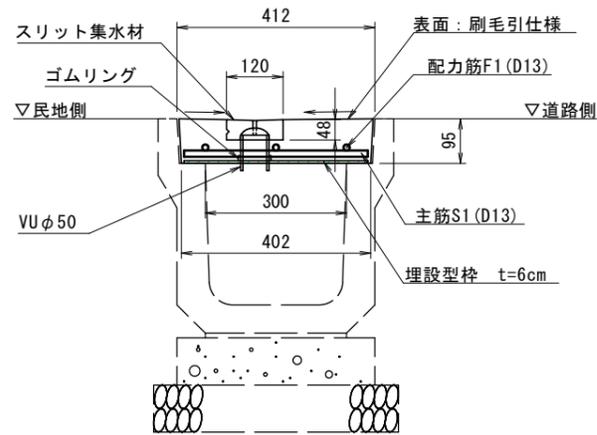
(10m当り)

落ちふた式U型側溝蓋 (3種)	参考質量
JIS A 5372	
(個)	(kg/個)
20	45

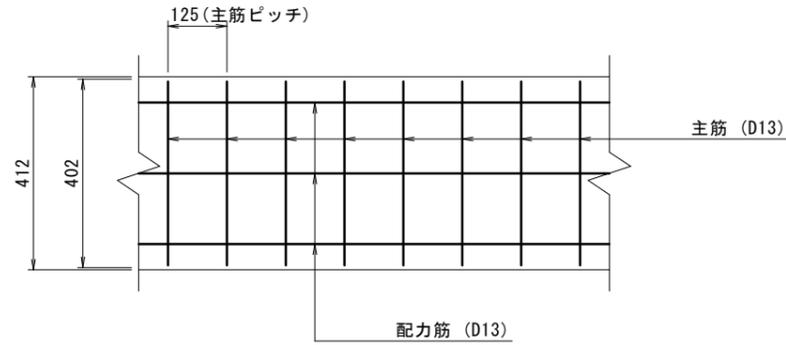
工事名	令和7年度 市道428号線拡幅改良工事		
路線名	市道428号線		
工事場所	海老名市中新田五丁目地内		
図面名	構造図(1)	縮尺	S=1:20
図面番号	全7葉の内 第4号		
神奈川県海老名市役所			

構造図 (2)

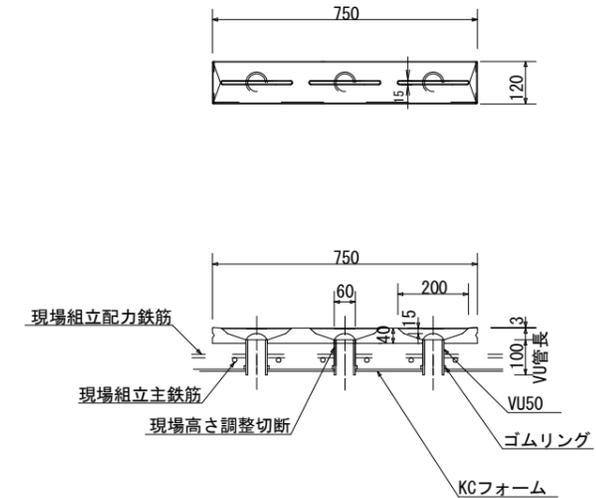
現場打ちスリット蓋 S=1:30



配筋図 S=1:30



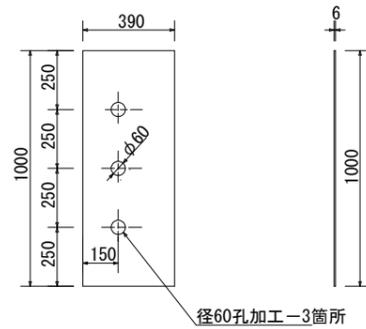
集水材 詳細図 S=1:20



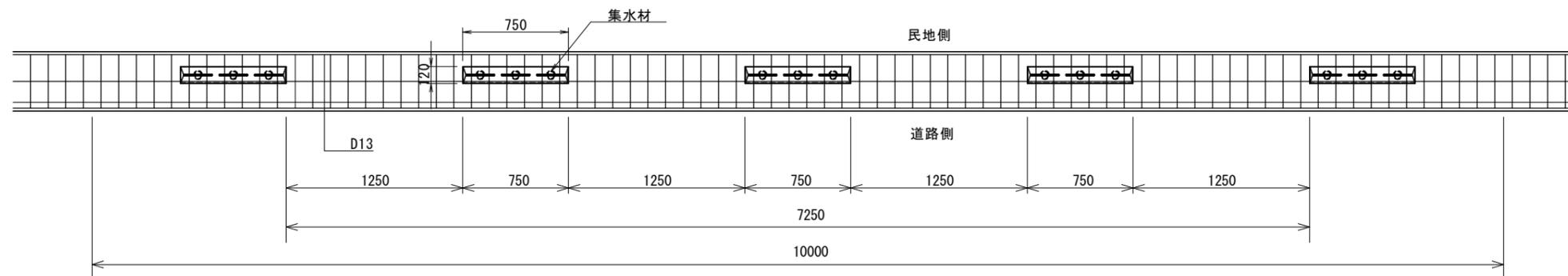
スリット蓋 材料表 10m当り

名称	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	24N/mm ²	0.327	m ³	0.412 × 0.095 × 10 - (0.12 × 0.048 × 0.75) × 5 - (0.06 × 2π / 4 × 3) × 5
埋設型枠	6 × 390 × 1000	10.000	枚	
集水材	並目120 × 48 × 750	5.000	個	
鉄筋(主筋)	D13 SD345	0.03	t	10 × 3 × 0.995 / 1000
鉄筋(配力筋)	D13 SD345	0.03	t	10 / 0.125 × 0.402 × 0.995 / 1000
塩ビ管	VUφ50	1.5	m	5 × 3 × 0.1

埋込型枠 300用 構造平面図 S=1:30



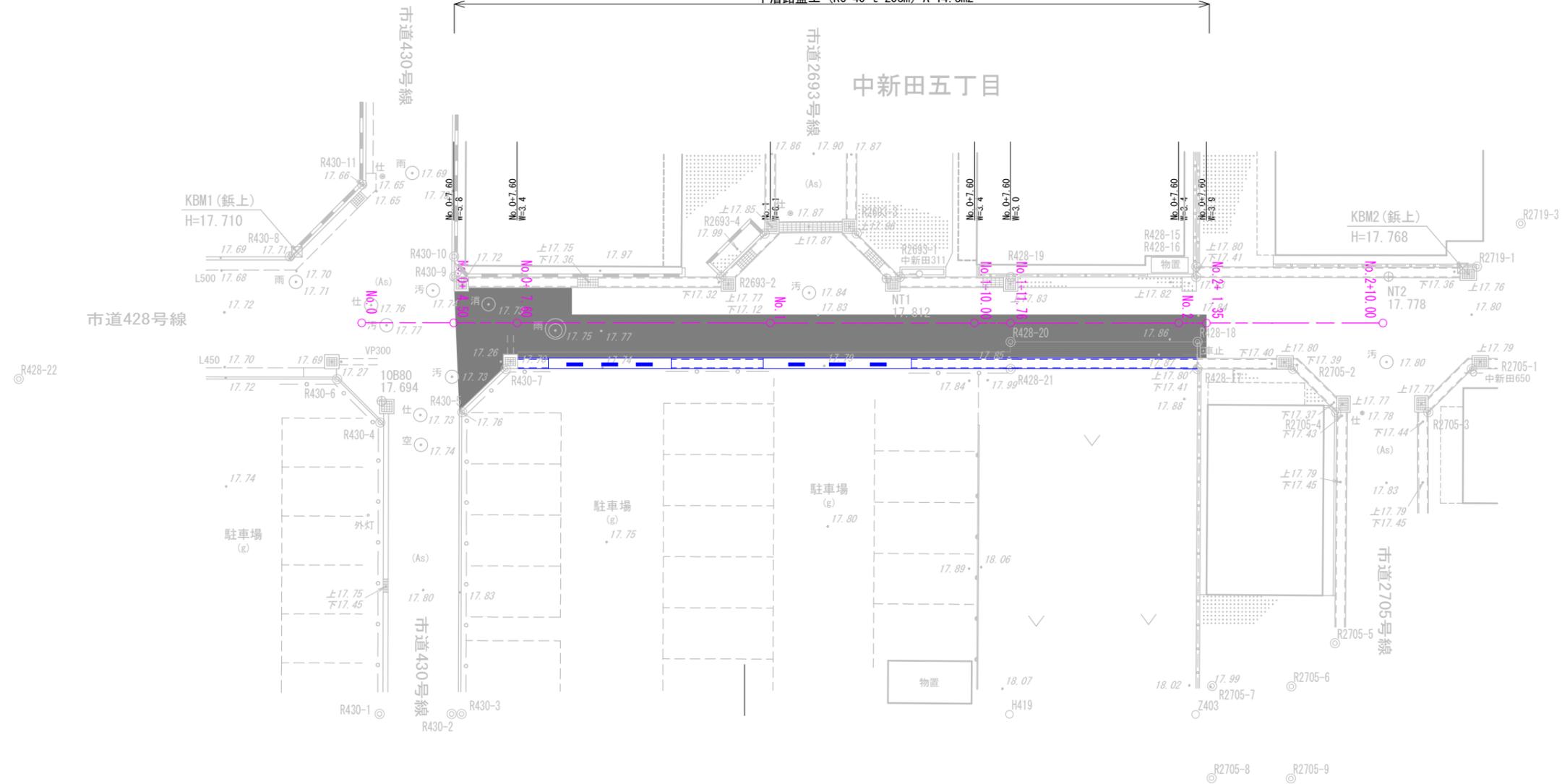
標準施工平面図 S=1:40



工事名	令和7年度 市道428号線拡幅改良工事		
路線名	市道428号線		
工事場所	海老名市中新田五丁目地内		
図面名	構造図(2)	縮尺	図示
図面番号	全7葉の内 第5号		
神奈川県海老名市役所			

舗装平面図

表層工 (再生密粒度As t=5cm) A=88.9m²
 不陸整正工 (RM-40 t=3cm) A=74.1m²
 上層路盤工 (RM-40 t=15cm) A=14.8m²
 下層路盤工 (RC-40 t=20cm) A=14.8m²



	表層工 再生密粒度As t=5cm
	上層路盤工 再生粒調碎石 (RM-40) t=15cm
	下層路盤工 再生切込碎石 (RC-40) t=20cm

	表層工 再生密粒度As t=5cm
	上層路盤工 再生粒調碎石 (RM-40) t=15cm
	下層路盤工 再生切込碎石 (RC-40) t=20cm

工事名	令和7年度 市道428号線拡幅改良工事		
路線名	市道428号線		
工事場所	海老名市中新田五丁目地内		
図面名	舗装平面図	縮尺	S=1:250
図面番号	全7葉の内 第6号		
神奈川県海老名市役所			

